

九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 5 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- ：解説を掲載した火山

この資料は、気象庁のデータの他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
中岳第一火口内の湯だまりの表面温度は70以上で経過し、小規模な土砂噴出が発生するなど、火山活動はやや活発でした。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山

[御鉢: やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
静穏な状況(火山活動度レベル1)]

火口縁を越える噴気がほとんど観測されなくなるなど火山活動は静穏に経過しました。

[新燃岳: やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
静穏な状況(火山活動度レベル1)]

火山性地震の発生回数は少なくなり、火山活動は静穏な状態で経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル2)]
噴火は1回発生し、爆発的噴火でした。桜島の噴火活動としては比較的静穏な状況でした。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
噴煙活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震はやや多い状態が続き、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]
噴火が発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。爆発的噴火の発生はありませんでした。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、7月10日(月)の予定です。

火山情報発表状況 (平成 18 年 5 月)

火山名	情報名	発表時間	概要
霧島山	火山観測情報第 6 号	22 日 15 時 00 分	やや活発な状況(火山活動度レベル 2)からとも静穏な状況(火山活動度レベル 1) 新燃岳：火山性地震が減少し、火山性微動の発生もありませんでした。 御鉢：火口縁を超える噴気はほとんど観測されませんでした。